

平成 28 年度

筑前町教育委員会の権限に属する事務の管理
及び執行状況についての点検及び評価報告書
についての学識経験者による意見

1. 福岡教育大学 教授 飯田 慎 司

2. 福岡県立福岡農業高等学校 元校長 田 中 浩 一

平成 28 年度筑前町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価報告書について、意見を申し述べます。

飯 田 慎 司

I 教育委員会の活動について

教育委員会は会議規則に基づき、計画的に開催されている。会議開催について議会事務局に通告する等の取り組みがなされ、平成 28 年度には 1 名の傍聴者があった。今後は、会議開催についてホームページへの掲載を行うなど、広報活動をさらに工夫しながら継続して取り組むこととしている。

教育委員の研修については計画的に行われている。今後とも各種研修会について情報提供を行うこととしているが、筑前町における課題に関する研修がいかに行われているかについての具体的な情報提供を行うべきと考える。

学校及び教育施設に対する支援・条件整備については、学校訪問が計画的に行われており、北筑後教育事務所同伴の学力向上フォローアップ訪問も実施されている。

II 教育委員会が管理・執行する事務

教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価について、平成 20 年度事業から自己評価等が実施され、平成 22 年度事業から学識経験者による外部評価が行われている。委員会窓口での閲覧及びホームページ等への掲載を継続して行うこととしている。

III 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

(学校教育)

1. 地域に開かれた学校づくりの推進

コミュニティ・スクール(学校運営協議会)の推進についての成果として、平成 28 年度も、熟議した内容の具現化において進展があったと評価できる。学習ボランティアによる学力向上、安全安心集会の実施、地域見守り隊の組織化等に加えて、各中学校区共通した「家庭学習強化週間」の実施、「ネット 4 ない宣言」等の取り組みが具体的になされている。これらは、Ⅲ 2 ④「町一体となった学力向上の気運の醸成」に直結した特筆すべき取り組みであり、コミュニティ・スクール(学校運営協議会)のよさを生かしたものであるとも言えよう。また、コミュニティ・スクールの取り組み状況等について、地域住民等へのホームページ等を通じた広報をさらに充実させることとしている。学校評価の効果的運用については、英語教育の推進等、町の教育施策の重点を評価項目に位置付けることで、各学校の取り組みが充実してきている。

2. 確かな学力をはぐくみ、個性や能力を伸ばす教育の充実

教育の機会均等を図る体制整備について、三輪小学校、夜須中学校において、小中合同研修会を行い、公開授業を通して、小中学校の教員による系統性のある指導内容・方法等について協議している。さらに、電子黒板導入による ICT 機器を活用した授業づくりやユニバーサルデザインの視点を生かした授業改善を行うことができている。各学校の特色ある取り組みが他の学校にも活かすことができるよう、筑前町教職員研修における研修内容の工夫改善や指導主事による情報提供及び学校支援を積極的に行っていくこととしており、今後とも、地道な取り組みに期待したい。

学力の定着を図る場の確保・充実について、学力調査で課題があった問題に対応する「フォローアップ資料」を活用した指導を単元指導計画に位置づけるとともに、補充学習の中で継続的に活用することができる。ALT の効果的活用とともに、英語での校内放送を行う等して英語環境の整備が進められ、児童・生徒の英語や外国文化への興味関心の高まりが見られている点は大いに評価できる。新学習指導要領の実施に向けて、外国語活動や英語科授業に対する注目度が増していくことが予想され、立命館アジア太平洋大学との連携「English Work Shop」の開催や夏期休業中の ALT との交流活動など、町の教育施策の重点として位置付ける種々の取り組みの成果が挙がっていくことを期待したい。

教員の実践的指導力の向上について、筑前町教職員研修を実施して、教職年数や職務内容に応じた研修を計画的に行っている。また、小中合同授業研修会を実施して、小中学校の教員による系統性のある指導内容・方法等について協議することができる。今後は、教科等の系統性や学び方の系統性等、小中連携(一貫)に関わるテーマを明確にした小中合同授業研修会にするために、研修内容や方法の工夫改善を図ることとしており、中 1 ギャップ解消につながる指導力向上が期待される。

町一体となった学力向上の気運の醸成について、学力テストの分析結果等について、教育委員会や各学校のホームページ、そして町広報紙を通じて、町民への普及啓発ができている。前年度の外部評価において、リーフレット「学校教育推進」を配布することに加えて、家庭学習の時間や内容の向上につなげていくための町一体となったさらなる取り組みを提言していたが、リーフレットの配布先を行政関係者も含めた地域全体に拡充するとともに、各中学校区で実施している「家庭学習強化週間」や「ネット 4 ない宣言」の取り組みを、家庭・地域と連携しながら運動として展開していくこととしており、大いに期待したいところである。部活動を引退し高校入試を控えた中学 3 年で家庭学習の時間や内容の向上が見られるのは当然のことであり、学力向上の気運の醸成として期待したいのは、小学校段階から家庭学習の習慣をつけること、そして中学校で部活動に打ち込んでいるときにも、学校での学習は勿論のこと、家庭学習と

の両立ができることである。

3. 心づくり・体づくりの推進

食育の推進として、筑前町給食管理委員会において、すべての児童生徒の食の安全を図るための「筑前町食物アレルギー対応方針」を1年間の熟議を通して策定することができている。今後は、この方針に基づく食物アレルギー対応が適切に実施できるよう指導を行っていくこととしている。

キャリア教育における小・中一貫のカリキュラム「夢と志を育む筑前っ子育成プラン」に基づいた特色ある実践を広げることができている。また、中学生が校区内の小学校に出向いて学習支援を行ったり、地域の行事等にボランティアとして積極的に参加したりする取り組みを継続させている。

道徳教育の充実・改善として、「特別の教科 道徳」への移行を踏まえ、実践校視察や講師招聘による研修等、各学校の道徳教育推進教員を対象とした研修を行っている。今後は、具体的な授業づくりや評価の在り方等、内容を焦点化した研修を行っていくこととしている。

4. いじめ・不登校に対する生徒指導体制の確立

いじめ認知件数が増加しているが、これは、いじめに関する教職員の目が行き届いていることの証でもあることから、今後も教職員の積極的な認知と組織的な対応について周知することとしている。いじめ認知件8件はすべて解消し、不登校22名のうち5名が解消している。教育支援センターで、学校への支援復帰と学力の保障を行っている。また、いじめ問題等外部専門家による学校への支援において、事例を通じた研修及び協議を全ての学校で実施できている。

5. 特別支援教育の充実

普通学級に在籍する発達障害が疑われる児童・生徒の個別の指導計画を作成し、特別支援教育の視点を取り入れた授業づくりを充実させることが改善・推進策に挙げられている。また、「障害者差別解消法」に基づく合理的な配慮の提供の充実を図ることとしている。個々の教育的ニーズに対応する人的支援については、9名の特別支援教育支援員を町費で各学校に配置して、特別支援学級での学習を充実させるとともに、普通学級の支援も積極的に行っている。

6. 人権教育の推進

教育施策説明会だけでなく、定期的な学校訪問によって、学校の教育活動全体を通して人権教育の推進を図るよう指導・支援を行っている。今後も引き続き、人権が尊重される「学習活動づくり」「人間関係づくり」「環境づくり」が各学校で共通理解のもとで進められるよう指導していくこととしている。また、初任者等を対象にした教職員の好ましい人権感覚の涵養と個別の人権課題の解

決に向けた正しい理解を育むための研修会を実施しており、人権教育の出発点である児童生徒理解の充実が図られるよう指導を行っていくこととしている。

7. 教職員の資質向上と人材育成

人事評価に関して、各学校で個票を作成し、校務、学級経営、授業等における客観的な評価を行うとともに、各学校で計画的に個人面談を実施するとともに、新たな人事評価制度の周知を行っている。また、教職員派遣研修に関しては、経験年数や職務内容に応じた研修を行えるようにするとともに、教職員一人一人の職務やキャリアステージに応じた筑前町教職員研修の内容の充実を努めることとしている。さらに、三輪小学校「人材育成部」が作成した「チーム三輪小 職員の手引き」を各学校に配布し、人材育成に関わる具体的取り組みを還元することができている。

(社会教育)

1. 学校・家庭・地域の連携による学習機会の充実

成人学級・講座について、各種講座・学級が開催されており、一定の成果があったと評価されている。単に学ぶことだけではなく、人と人とのつながりを醸成し、その活動を地域に広げることのできるプログラムを準備し、地域や学校への学習成果の還元を図ることが改善策に挙がっている。

2. 図書館の充実と読書活動の推進

「小学生読書リーダー育成講座」で読書リーダーを育成し各小学校の読書活動の促進につなげている。また、「毎月23日は読書の日」とし、この日は省テレビ、省ゲームデーとして家族で読書活動を行う日として啓発している。また、小学校低学年、高学年用の家読カードを作成し、全児童に配布して「家読」の啓発を行っている。さらに、「筑前町子ども読書活動推進計画」の改定や、「読書リーダー育成講座」の内容見直しも予定しており、読書活動の推進につなげることを期待したい。

3. 生涯スポーツの普及促進による健康増進

『スポーツ障害予防のトレーニング法』を実施して、地域スポーツの振興を推進する指導者としての力量や資質の向上を図っている。参加者(41名)の多くに好評であったとのことである。

4. 芸術文化の鑑賞機会と発表機会の充実

毎年度、多様なニーズに応じて同事業が行われており、継続的な働きかけや申請等によって、計画的に実施されていることを評価したい。参加型の企画に

よって、聴くことや観ることに加えて体験する機会も提供して、町民ホールや文化施設の使用促進を図るという改善策があがっている。

5. 様々な体験活動による青少年の健全育成

2泊3日の6年生交流会が行われ、新たな交流ができ、他校のことを知り協調性を伸ばす機会となったが、前後に休日がなくなり負担が大きいことから、今後は1泊2日に戻す予定とのことである。通学合宿の取り組みが充実しており、地域にとってより魅力的な合宿内容や町の支援体制を検討している。参加者が少なく実施できなかった東小田小学校区では、料理教室として実施している。三輪小校区で実施されている「子ども会議」も筑前町の独自の取り組みである。

6. 「子どもの約束」の推進

平成24年度に策定された「子どもの約束」に関して、子どもが参加する種々の行事の配付資料に「約束」を綴り込むとともに斉唱を奨励している。子どものつどいで「子どもの約束」を活用したイベントを行っている。家庭への普及促進とともに推進事業の新たな展開を図ることとしていたが、「大刀洗平和記念館中学生ボランティアガイド」事業を行っており、これは評価できることである。

7. あらゆる場を通じた人権教育・啓発の促進

筑前町人権・同和推進協議会社会教育部会総会において、事業計画等について協議を行い、各種講演会・研修会への参加、部会員が属する団体での研修を呼びかけている。また、教育委員と社会教育委員の会合同で、子どもの貧困問題についての研修を開催している。

IV おわりに

各事業の点検・評価の結果、各担当の努力によって、教育施策の実現に向けて着実な成果が挙げられている。

毎年度、同じような取り組みや改善策があがっているものもあるように感じる。施策の特徴からして致し方ない面もあるだろうが、取り組みの観点を見直したり、課題を明らかにしたりして、改善に向けて取り組んでいただきたい。

学校教育に関する施策に関しては、コミュニティ・スクールを町内の全小・中学校に拡大して5年目ということもあって、熟議した内容を具現化すること等において着実な進展が見られるように思われる。学力向上に関しては、筑前町だけではなく多くの市町村が真剣に取り組んでいる。筑前町は、コミュニティ・スクールのよさを生かして、家庭と地域を巻き込んだ教育の成果をあげている点を大

いに評価したい。平成 28 年度には、リーフレット「学校教育推進 28」を配布して周知することに加えて、各中学校区共通した「家庭学習強化週間」の実施や、「ネット 4 ない宣言」の取り組みが大いに評価できる。さらに、英語教育の推進を町の教育施策の重点にして、ALT の効果的活用に止まらないユニークな取り組みが実施されている点にも注目していきたい。

社会教育に関する施策に関しては、社会教育委員の会議からの答申を受けて策定された、筑前町「子どもの約束」の啓発や普及促進の取り組み等において、推進事業の新たな展開が図られているようである。また、読書活動の推進においても意欲的な取り組みが行われている。子どもたちの体験活動を重視した種々の取り組みも継続的に実施されており、これまでの積み上げを通して筑前町に根付いてきた望ましい活動は継続的に実施していくという姿勢も共感できるものである。

平成28年度筑前町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価報告書についての意見

田 中 浩 一

I 教育委員会の活動

1 教育委員会の会議の運営改善

① 教育委員会会議の開催回数

毎月1回の定例会及び臨時会（合計14回開催）は、他の市町村と比較しても妥当と考える。

② 教育委員会会議の運営上の工夫

毎月定例の教育委員会であり、原則、開催日は特定したがよいと考える。特定することにより、委員の出席状況が改善され、事務局としても、より円滑な運営ができると判断する。

2 教育委員会の会議の公開、保護者や地域住民への情報発信

① 教育委員会会議の傍聴者の状況

傍聴者が1名とは非常に少ないと考える。会議開催について、ホームページの活用のほかに、様々な広報活動を工夫するなど、早急に改善策を検討していただきたい。なお、開催日を特定することも一案であると考えます。

② 議事録等の公開、広報・広聴活動の状況

議事録等を公開し、広報・広聴活動を行うことにより、町民の関心が高まり傍聴者の増加等も期待できると考える。

3 教育委員会と事務局との連携

定例教育委員会開催時に、教育長から現状と課題等について丁寧に報告がされており、教育委員との信頼関係が深まるなど、連携協力ができていると判断する。

4 教育委員会と首長との連携

首長との懇談会の実施、教育施策説明会や学力向上研修会等に首長の出席を要請し連携が図られていることは評価できる。さらに首長主催の総合教育会議が開催され意見交換を行うことができたことは、大いに評価したい。

5 教育委員の研修

各研修会に教育委員が出席し研修に努めていることは、評価できる。研修を通して、気づいたことを大いに議論し教育行政に反映していただきたい。

6 学校及び教育施設に対する支援・条件整備

教育現場の実状を理解するための視察や懇談をすることは、教育委員会の活動として評価したい。学校外の視察先の検討もお願いしたい。例としては、県教育センターや大学等も大いに参考になると考える。

II 教育委員会が管理・執行する事務

- 1 学校教育又は社会教育に関する一般方針を定めること。

平成28年度教育施策及び「学校教育推進28」並びに「社会教育推進28」を作成するなどの取組は評価できるものである。
- 4 県費負担職員の懲戒及び県費負担職員たる校長の任免その他の進退について内申すること。

定数欠員補充及び休職代替職員の任用等については、教育委員会として学校をしっかりと支援し、教育活動に支障がないように努めることが大変重要であると考えます。口頭による訓告1件は大変残念なことであるが、今後も指導強化に努めてほしい。
- 5 県費負担教職員のサービスの監督の一般方針を定めること。

県の方針を下に、町の教育施策を踏まえ、しっかりとの方針を定めてほしい。
- 6 前2号に定めるもののほか、人事の一般方針を定め、及び懲戒を行うこと。

人事異動に関しては、校長の学校経営上の意見を十分に踏まえ学校の活性化に資するよう努めてほしい。
- 8 教育委員会の職員の任免その他の人事を行うこと。

人事異動に関しては、校長の学校経営上の意見を十分に踏まえ学校の活性化に資するよう努めてほしい。
- 10 1件100万円以上の工事の計画を策定すること。

実施計画策定においては、国や県の教育の動きとしっかりと連動した計画を策定してほしい。
- 11 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行う。

学識経験者から多様な意見を聴くことは適切であり、その意見を町の教育行政に活かしていることは評価できる。なお、学識経験者の選定に当たっては十分に配慮していただきたい。
- 12 教育委員会規則等の制定又は改廃を行うこと。

今後とも、状況の変化に対応した審議をしっかりと行って欲しい。
- 13 教育予算その他議会の議決を経るべき議案について、意見を申し出ること。

今後とも、教育予算の説明は理解が得られるよう、十分に努めて欲しい。
- 15 校長、教員その他の教育関係者の研修の一般方針を定めること。

教員研修は大変重要な施策であり、それらを策定し推進していることは大いに評価できる。

III 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

(学校教育)

1 地域に開かれた学校づくりの推進

① コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の推進

学校運営協議会制度の趣旨を十分に活かし、地域に開かれた学校づくりを推進してほしい。参加する保護者や地域住民の選定については、選定委員会を設置するなど、多様な観点から検討してほしい。

② 学校評価の効果的運営

学校関係者評価委員会と学校運営協議会とを一体化することで、学校の教育活動に対する評価が、効率よく行うことができたことあり、評価できる。一方、今後は更なる検討や検証も必要ではないかと考える。学校は校長が全ての責任者であり、校長をしっかりと支える体制が大切である。

2 確かな学力を育み、個性や能力を伸ばす学校教育の充実

① 教育の機会均等を図る体制整備

「学校教育推進28」により、学校の指導体制の整備が十分に図られ、評価できる。特に、推進目標が具体化され、保護者や地域住民にも理解が得やすいと考える。大変よくまとめられている。

② 学力の定着を図る場の確保・充実

「個に応じた指導の充実」の観点から、フォローアップ授業は興味深い。学校全体としての教育力（特に学力）を高めるためには、是非推進していただきたい。その際、教員の負担軽減も重要であり、すべてを学校に任せるのではなく、地域の教育力の活用も今後検討していただきたい。

③ 教員の実践的指導力の向上

平成28年度筑前町学力向上施策の具体化として、「教員の授業力の向上」が明示され、推進されており評価できる。教育委員会として義務教育を修了するにふさわしい児童・生徒を育成することは、最も重要なことである。

④ 町一体となった学力向上の機運の醸成

町民に対し、リーフレットの配布や説明会、研修会を実施していることは大いに評価できる。学力テストの分析結果を研修会等で公表することは、学力向上の機運を高めることにつながると考える。

3 心づくり・体力づくり

① 食育の推進

食育推進委員会を開催し第二次食育推進基本計画の具体的な取組や年間指導計画の重点化に努めていることは評価できる。

② キャリア教育・ボランティア教育の推進

「ボランティアで、心をつなぎ、自尊感情を高め、感謝の心をはぐくむ」この目標に対する特色ある取組は評価できる。今後とも積極的に推進してほしい。

③ 道徳教育の充実・改善

次期学習指導要領でも道徳が重視されており、教員研修の充実をお願い

したい。

4 いじめ・不登校に対する生徒指導体制の確立

① いじめ・不登校をなくす学校の取り組み

児童・生徒を取り巻く社会環境は日々変化しており、児童・生徒を孤立化させないよう家庭や社会と共に見守る必要がある。教育委員会の取組は評価できる。

② 児童生徒の安心・安全を守る連携体制

学校、教育委員会、関係行政機関が十分に連携し、安心・安全な教育環境の整備に努めてほしい。総合教育会議でもしっかりと取り組んでいただきたい。

③ 児童生徒の安心・安全を守る人的支援

スクールカウンセラーや教育相談員などの活用など、教育委員会の支援は評価できる。更なる関係者による情報交換・共有化を積極的に努めてほしい。

5 特別支援教育の充実

① 学校における特別支援教育の組織的な推進

今日、特別支援教育に関心が高まり、特別支援学校への進学希望者が増加している。関係機関と連携し、学校が組織的に児童生徒を支援できるよう、特別支援教育の充実に努めてほしい。

② 関係機関とのネットワークの構築

特別支援教育に配慮した、細かい助言や支援ができています。

③ 個々の教育的ニーズに対応する人的支援

6 人権教育の推進

① 学校の教育活動全体を通じた人権教育の推進

「学校教育推進28」を配布し、説明会や研修会等で啓発を行ったことは評価できる。特に、初任者、若手教員に対してはしっかりと研修を期待したい。

② 組織的な取組の推進

学校での全体計画や年間指導計画の作成について、助言や支援を積極的に行ってほしい。

③ 指導内容の充実と指導方法の工夫・改善

各学校での実践事例を活用するなど今後の指導改善に活かして欲しい。

7 教職員の資質向上と人材育成

① 教職員の資質向上を図る人事評価の推進

人事評価の目的、評価方法、実施上の留意点を校長に指導する際、単なる説明にならないよう、具体例を例示するなど指導の徹底を図っていただきたい。この制度が始まって以来、その成果が見えてきたか、疑問も残る。

② 教職員派遣研修や教職員人事による人材育成

大量採用時代の中、教員の研修は大変だと思うが、教員一人ひとりに応じたきめ細かな研修は大切である。特に、不祥事防止に関する研修は重視してほしい。

(社会教育)

1 学校・家庭・地域の連携による学習機会の充実

① 成人学級・講座

教育は学校教育だけでなく、社会教育も大変重要である。生涯学習時代を迎え、成人学級や講座の要求度は今後益々増加すると考える。現在の教育委員会の施策は評価できるし、今後期待したい。

2 図書館の充実と読書活動の促進

① 子どもの読書活動推進計画の実施

「社会教育推進28」の中で、読書活動の推進のねらいがありますが、単に読書活動を推進するだけでなく、活字に親しむこと、豊かな心を育むこと、創造力や思考力を高めることなど総合的な学力の向上方策、また、家庭での親子の会話などコミュニケーション能力の向上にもなり、町の施策は十分理解できます。今後とも工夫改善されることを期待します。

② 地域の知の拠点としての機能強化

3 生涯スポーツの普及促進による健康増進

① スポーツ指導者研修会

町は以前からスポーツが盛んで、これまでも多くの有名選手を育ててきた実績があります。指導者育成を今後とも計画的、積極的に推進されることを期待します。

健康、安全、安心な町づくりにもスポーツ振興は大変重要と考えます。

4 芸術文化の鑑賞機会と発表機会の充実

① 芸術・文化事業の開催

質の高いマンスリーコンサートは大変好評と聞いています。幅広い年代に親しまれる、多様なジャンルの音楽と生演奏の素晴らしさを感じる企画を今後とも継続していただきたい。

② 文化財の保存・活用

③ 町史の編さん

5 様々な体験活動による青少年の健全育成

① 通学合宿

地域の子どもたちを地域で育て、同時に地域のつながりを広げることを目標とする自治公民館主催の本事業は大変素晴らしいと考えます。町の特色化としても今後とも積極的に推進していただきたい。

② 子ども会議

③ 6年生交流会

②、③とも教育委員会として特徴的な事業と考えます。今後に大いに期待します。

6 「子どもの約束」の推進

① 「子どもの約束」の推進及び啓発事業の充実

「大刀洗平和記念館中学生ボランティアガイド」は画期的な取組。

7 あらゆる場を通じた人権教育・啓発の促進

① 筑前町人権・同和推進協議会 社会教育部会

子どもの貧困問題について研修を開催されたことは、評価できる。

終わりに

今回、筑前町教育委員会の事務、管理及び執行状況について評価することになり、本教育委員会の役割がよく理解できました。義務教育段階においては市町村教育委員会の役割は非常に大きく、将来の地域を担う人材の養成や健全な町づくりに大きく関与しています。教育委員会の役割は、各学校の現状と課題をしっかりと把握し、課題解決のための、助言、指導及び支援を行うことだと考えます。教育委員会は「首長」と同じだけの役割を果たさなければなりません。子どもの成長に対する強い問題意識や当事者意識が求められます。

ところで、本報告書を読んで、B評価が1項目で、残り全てがA評価でした。改善・推進策の記載内容からみて、B評価ではないかと思われる点もあります。よろしくお願い申し上げます。